

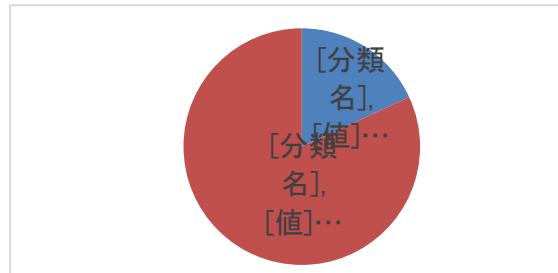
## 2013年 山陽小野田市 SOS 健康フェスタ来場者アンケート 集計結果

おかげさまで、今年度の健康フェスタ来場者は公称 800 人で、昨年度の 500 人から大幅増になりました。(800 人というのはスタンプラリー参加者数を元にした推定であり、はいはいレースだけの来場者などを含めると 1000 人に達したと思われます。) このうち来場者アンケートにご協力くださった 193 人の方の回答をまとめ、来年のフェスタに活かせるよう、一言コメントを付けさせていただいたものをご報告いたします。

山口大学大学院医学系研究科環境保健医学分野

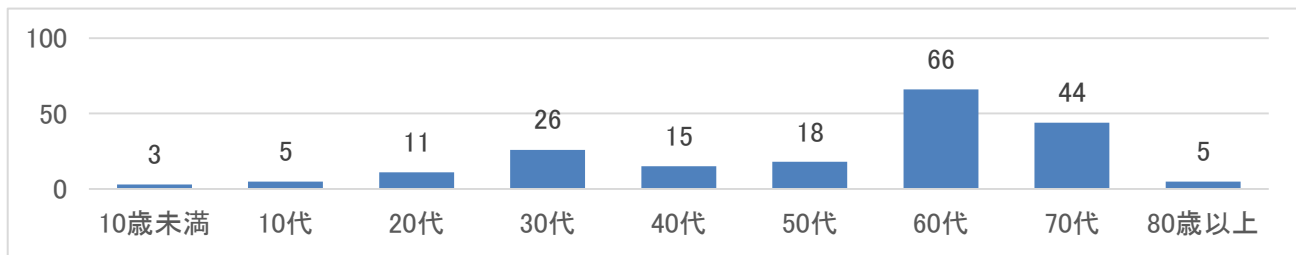
NPO 法人山口ヘルスプロモーションネットワーク 長谷亮佑

(問1) あなたの性別は？ 1. 男 2. 女

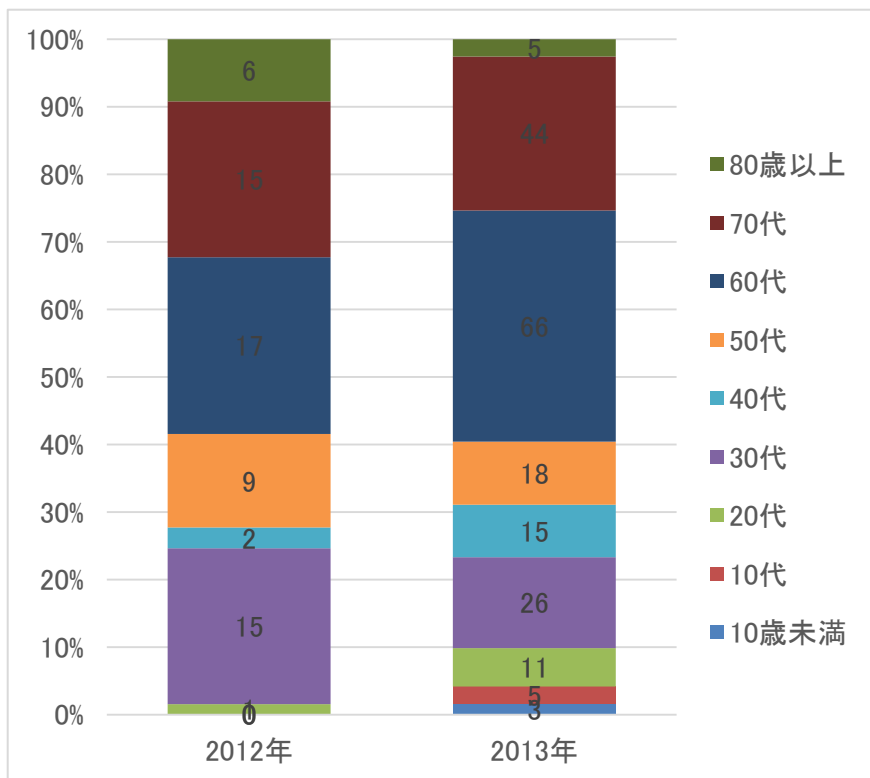


(問2) あなたの年齢は？

1. 10歳未満 2. 10代 3. 20代 4. 30代 5. 40代 6. 50代 7. 60代 8. 70代 9. 80歳以上



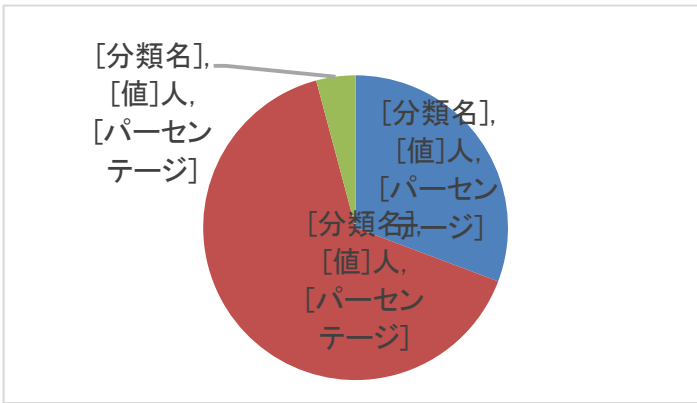
2012年との比較



60代、70代が半数以上を占めた。若い世代で見ると、昨年度は30代の来場者が多かったが、その前後の20代、40代の来場者はほとんどなかった。今年度は、20代、40代が見られ、高齢者中心とはいえ、各年代から来場が得られた。(はいはいレースだけの参加者はアンケートに答えていない方が多いので、実際はもっと若い層の割合が高かったと思われる)

グラフ内の数字は人数

(問3) あなたのお住まいは？ 1. 山陽地区 2. 小野田地区 3. 市外( )

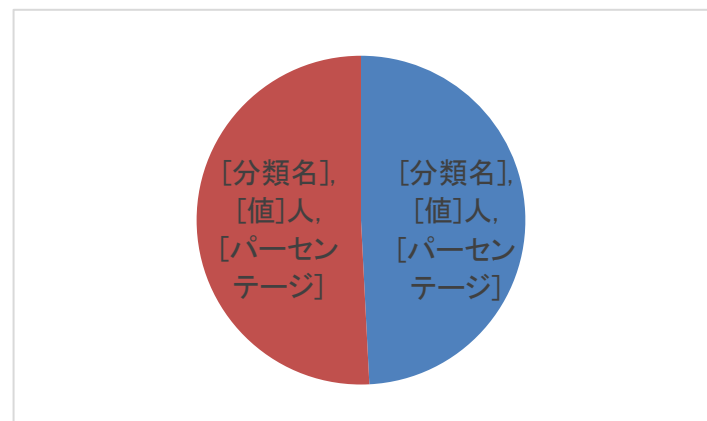


<市外の具体的回答>

宇部 5 周南 1

毎年小野田地区で開催しているが、山陽地区からの参加が得られている。

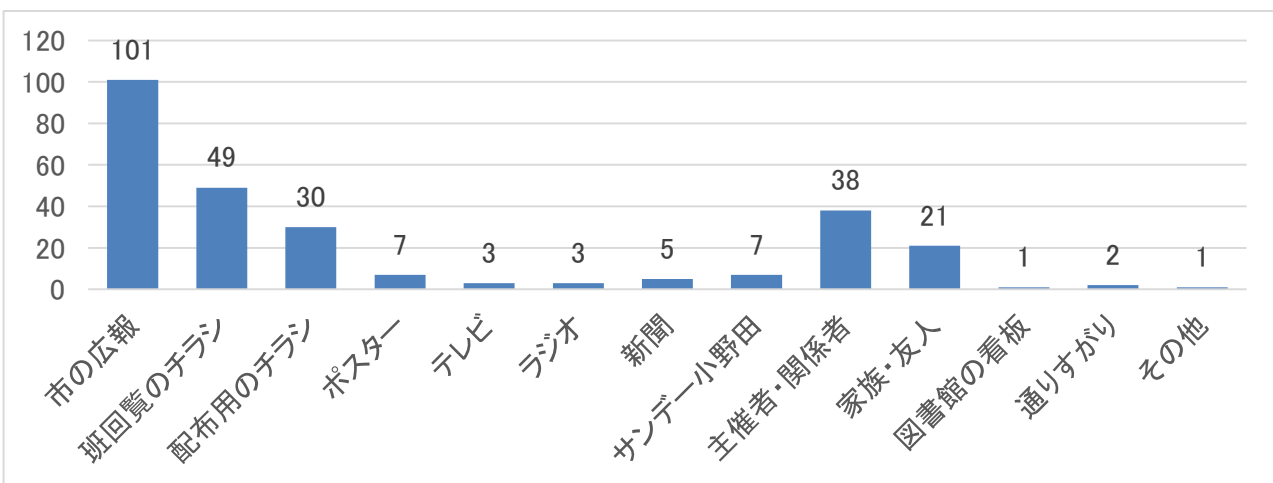
問4) あなたは昨年の健康フェスタにも来られましたか？ 1. 来た 2. 来ていない



全体の来場者が昨年に比べ倍増したことと合わせると、昨年の来られた方々がそのまま今年も来られ、それと同じだけの新規来場者が得られたということ。

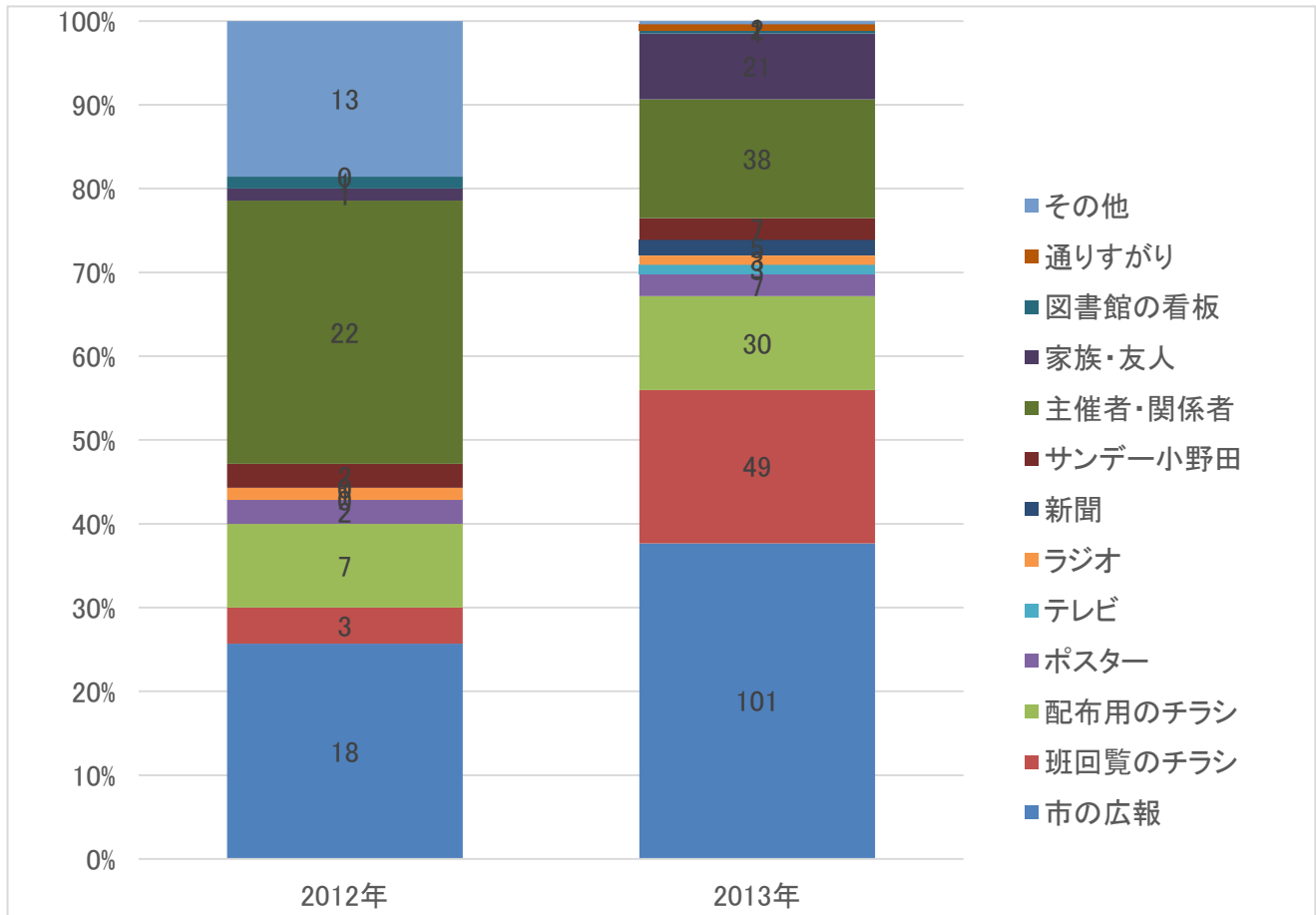
(問5) あなたはこのイベントを何で知りましたか？ 当てはまるものすべてに○をしてください

1. 市の広報 2. 班回覧のチラシ 3. 配布用のチラシ (手にした場所: ) 4. ポスター 5. テレビ  
6. ラジオ 7. 新聞 8. サンデー小野田 9. 主催者・関係者 10. 主催者・関係者ではない家族・友人  
11. 図書館・歴史民俗資料館の看板 12. 通りすがり 13. その他( )



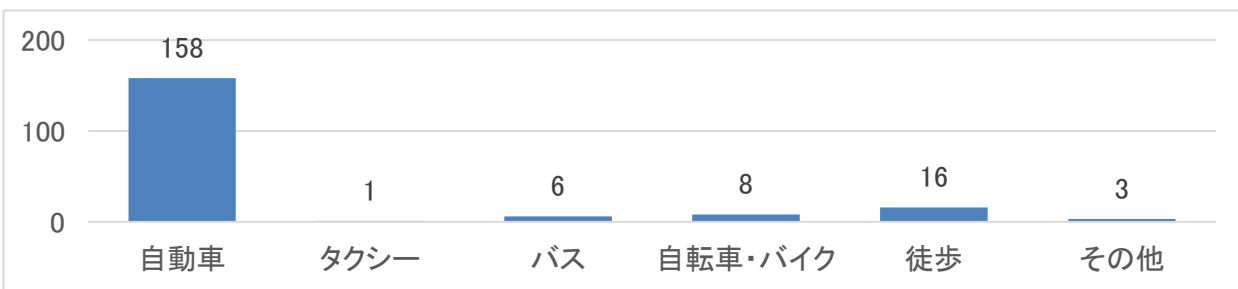
例年、山陽小野田市は、他市と比較しても市の広報、班回覧のチラシを見ての来場者が多く、市による情報が市民に届きやすく、かつ、市民が市からの情報で行動を起こしやすいのが特徴である。今年度は昨年度に比べ、さらに市の広報、班回覧が周知の手段として機能している。一方、動員をかけていないということであるが、主催者・関係者から聞いて来場された方は少なく、直接の呼びかけが少ないとも言える。

2012年との比較



(問6) あなたは会場までどのようにして来られましたか？

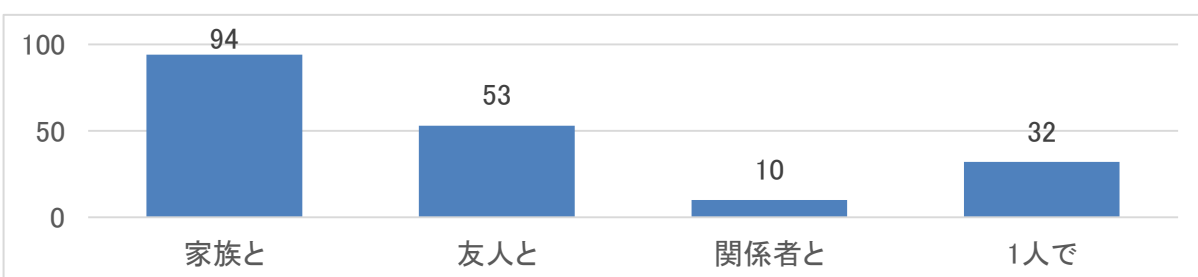
1. 自動車 2. タクシー 3. バス 4. 電車 5. 自転車・バイク 6. 徒歩 7. その他( )



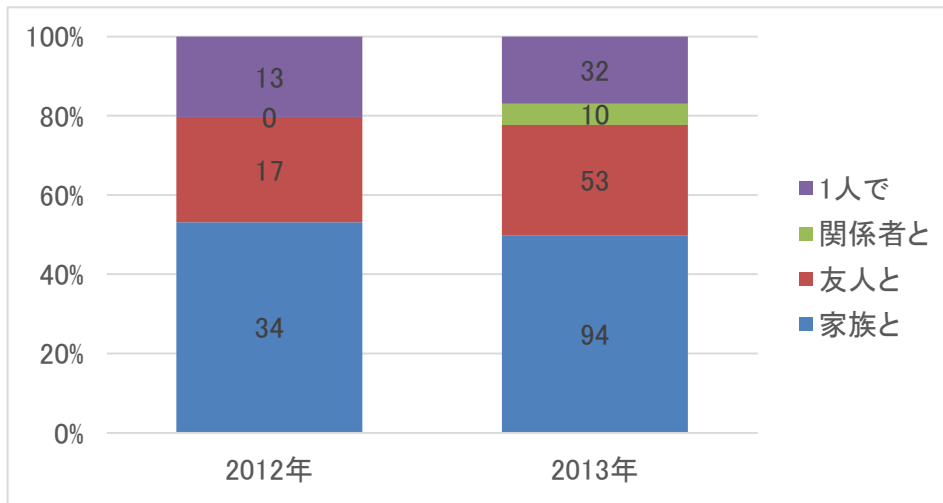
自動車での来場者がほとんどであり、今年度のフェスタ開催中、ピーク時の駐車場はいっぱいであった。来年度以降、さらに来場者増を目指すのであれば、駐車台数の確保が必要となる。

(問7) あなたはどなたと一緒に来られましたか？( )に自分も含めた人数をご記入ください。

1. 家族と一緒に 2. 友人と一緒に 3. 関係者と一緒に 4. 自分1人で



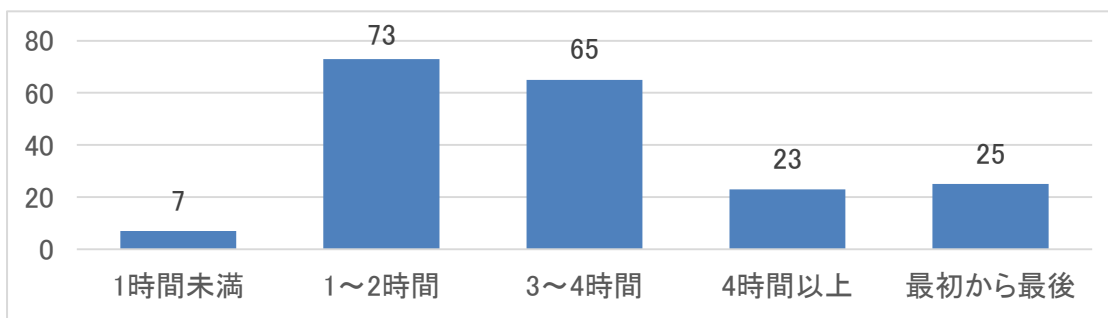
## 2012年との比較



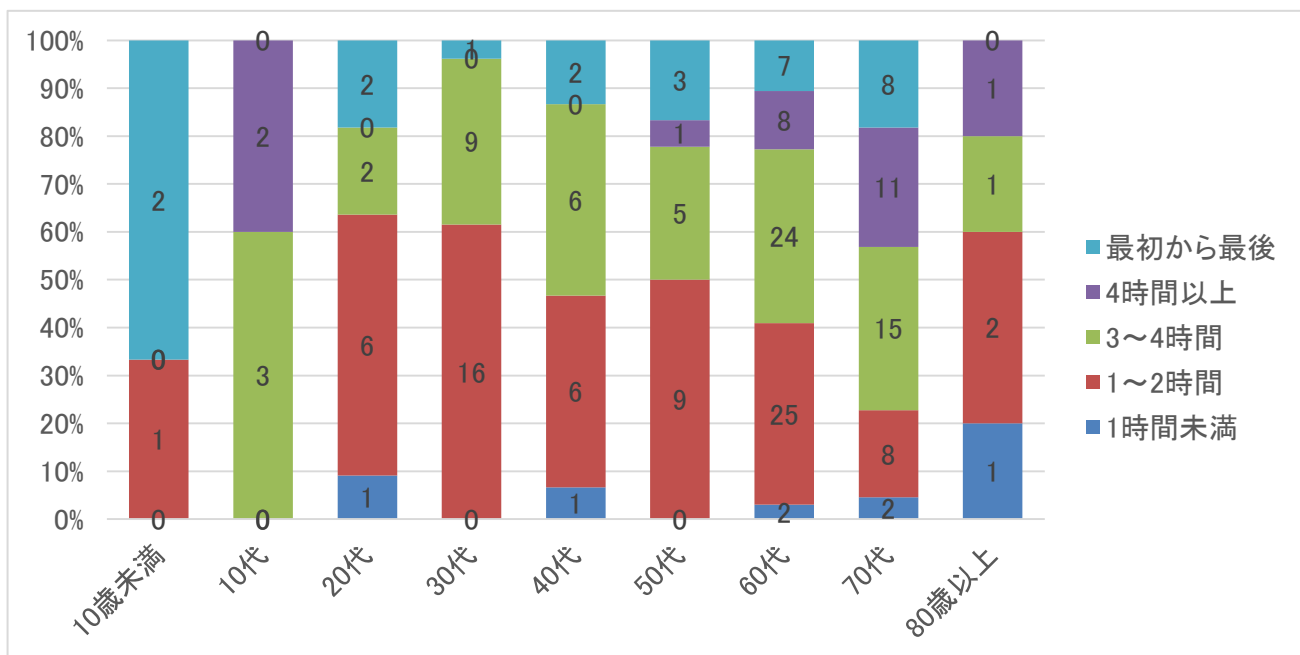
家族で参加する人を増やす目的で、はいはいレース、三世代ビンゴを開催したが、割合的には昨年度と変わらなかった。ただし、人数で言えば倍増であるし、はいはいレース参加者がアンケートに答えていないので、実際は家族での参加がもっと多いと思われる。

## (問8) あなたのフェスタでの滞在時間はどのくらいですか？

1. 1時間未満    2. 1～2時間    3. 3～4時間    4. 4時間以上    5. 最初から最後まで

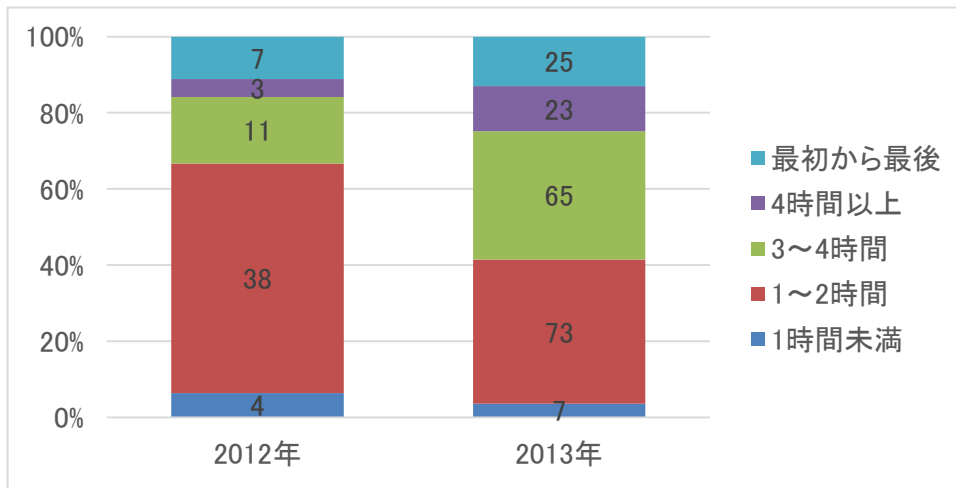


## 年代別の比較



10代および70代の滞在時間が長く、最も来場者の多かった60代も半数以上が3時間以上滞在している。親世代は子どもがいるため、80歳以上は体力的に長時間の滞在が難しかったと思われる。

2012年との比較

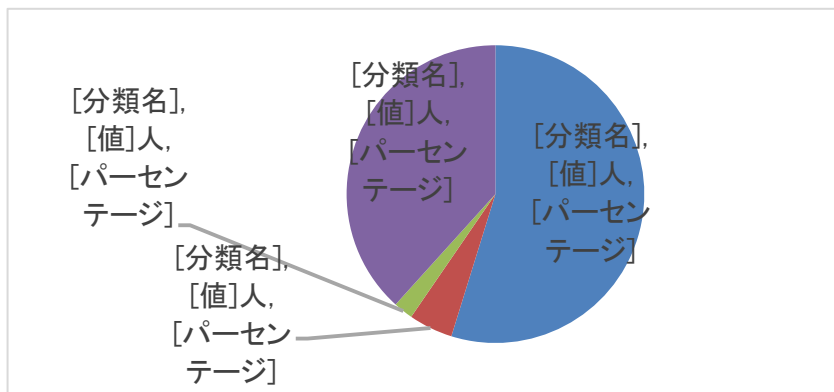


昨年度に比べ、滞在時間が長くなっているが、各種計測コーナーでの待ち時間が長くなったことが影響しているかもしれない。

各ブースや多くの企画をしっかり見てもらうためには、短時間滞在の方々にもう少し居てほしい。

(問9) あなたは今日のフェスタで昼食を食べられましたか？

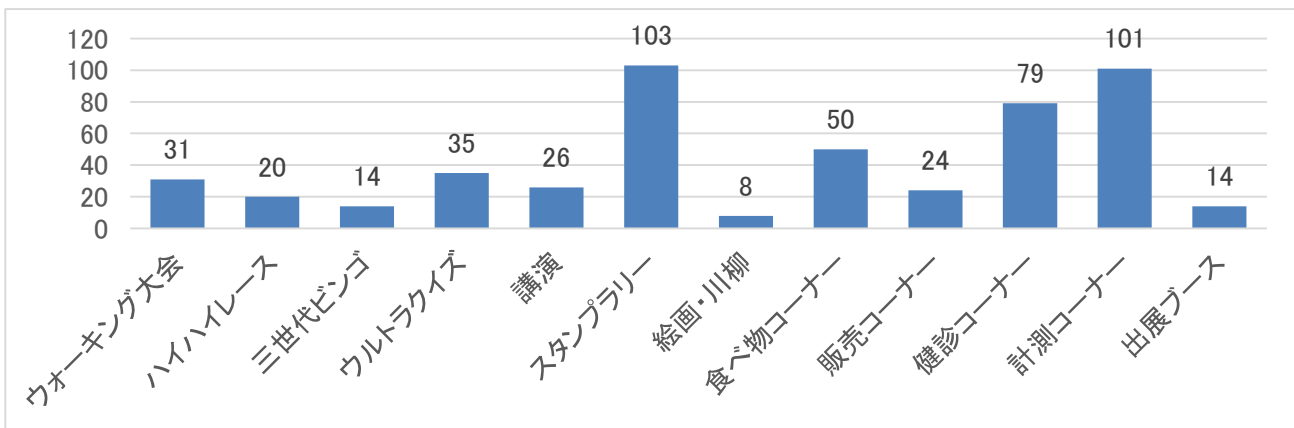
1. フェスタの食べ物コーナーで 2. 会場周辺の飲食店で 3. 持参したものを 4. 食べていない



「会場周辺の飲食店」や「食べていない」という回答があったのは、今年度は食べ物コーナーが早めに売り切れてしまったからかもしれない。

(問10) あなたがよかったと思うものすべてに○を付けてください。

1. ウォーキング大会 2. ハイハイレース 3. 三世代ビンゴ 4. SOS 健康ウルトラクイズ  
 5. 講演「ロコモと介護予防」 6. スタンプラリー 7. 絵画・川柳 8. 食べ物コーナー 9. 販売コーナー  
 10. 血圧・歯などの検診コーナー 11. 骨年齢・身体能力などの計測コーナー 12. 各出展ブース (具体的に: )



スタンプラリーについての○の数に比べ、出展ブースに○が少ないのは、多くのブースを回ってもらうために企画しているスタンプラリーであるはずなのに、景品の影響もあってかスタンプラリーそのものが目的化してしまっている可能性がある。せっかくのブースをよく見ていただけるように工夫したい。

(問 11) 今回のフェスタで、あなたが気づいたり学んだりしたことをお書きください

- ・
- ・たくさんの方が来ていてびっくりした、今まで以上に人が多かった、活性化していた 5
- ・全体で学びが多かった、気づきができた、勉強できた 3
- ・健康の大切さ、健康の再認識、長生きするための努力 4
- ・自分の健康状態がどうであるかわかった、体力 2
- ・自分の健康管理
- ・血圧、塩分についてよく理解しなければ 2
- ・野菜が少し不足していた、野菜をもっと食べなければ 2
- ・コレステロールが高くなってはいけないこと
- ・食生活、運動の大切さ
- ・大腸の働き 2
- ・がんについて 2
- ・さっそく検診します、検診の必要性 2
- ・おくすり手帳のことがよくわかった
- ・薬の処方箋の有効日数を知った
- ・心身の健康が大切
- ・このような企画があり、びっくりした
- ・各ブースが高レベルになり、アンケートの答えに戸惑うことが多かった。参加者も勉強して来なくては

今年度はオープニングで、ブースを開けずに、山陽小野田市健康づくり計画の概要や市民アンケート結果などを来場者全員に聞いていただいたおかげで、その内容について上記に記載された方がいた。市民に直接話ができる貴重な機会なので、来年以降もこの時間を有効利用したい。

(問 12) 今回のフェスタで、あなたが「良かった、来年も継続して欲しい」と思う点、または希望する企画等があればお書きください

- ・骨密度 8
- ・血管年齢測定 5
- ・血圧測定 2
- ・計測コーナー 5
- ・検診コーナー
- ・医師の相談
- ・健康状態のチェック
- ・医療関係
- ・栄養関係、食育・料理、食事のバランスの勉強、副菜が足りない 4
- ・食育ブースが子ども達が参加でき、とてもわかりやすく工夫されていた、子ども達が参加できるものが増えるとよい
- ・食事指導
- ・歯
- ・ロコモ検査
- ・ヤクルト、腸内細菌 2
- ・高校の試食で品切れがあったので残念、来年もぜひやって欲しい
- ・スタンプラリー 3

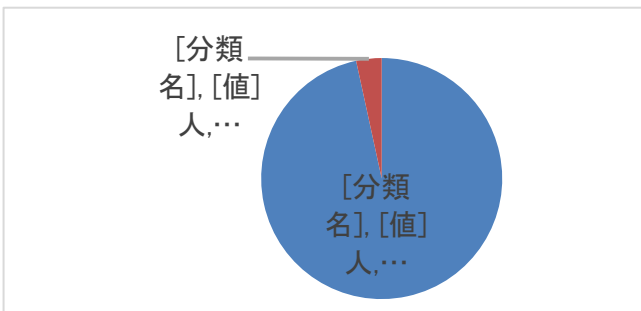
- ・ウォーキング 4
- ・ハイハイレースがあり、三世代が参加していてよかった
- ・高校生が参加していて良かった
- ・歩くスペースが確保されていてよかった
- ・今年は余裕を持って来なかったのですが、来年はしっかり見て回りたいと思った
- ・すべて良い 4

(問 13) 今回のフェスタで、あなたが「良くなかった、来年は改善すべき」と思う点をお書きください

- ・スタンプラリーの場所に番号を入れて欲しい
- ・待ち時間が長く、椅子が少なかったので、足が悪い人には少し苦痛
- ・会場内でゆっくりする場所が欲しい
- ・館内の位置がわかりにくかった
- ・各ブースに受付が欲しい、どこに並んだらいいかわからない
- ・ウォーキングコースの紹介で、山陽側が3ヶ所(?)しかなかったため、もう少し紹介してほしい
- ・ハイハイレースの距離が意外に短かった
- ・もっと宣伝して欲しい

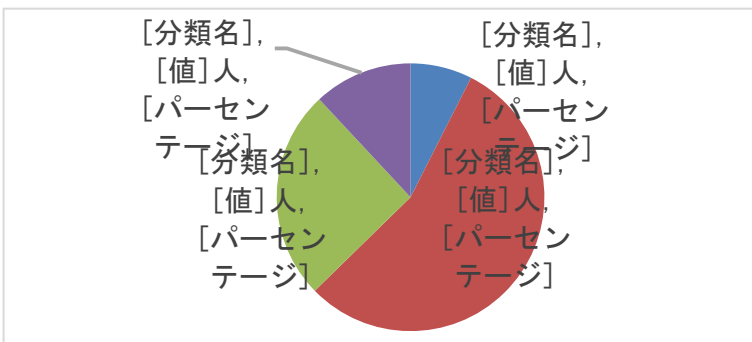
ここで挙げられたご意見を来年度は必ず改善するようにしたい。

(問 14) 来年度の健康フェスタにも参加したいと思いますか？ 1. 参加したい 2. 参加したくない



(問 15) 山陽小野田市SOS健康づくり計画は市民参加を特徴としており、市民の皆様から様々な形でボランティアを募っています。ボランティアとして関わってみたいと思われませんか？

1. ぜひやりたい 2. やってもよい 3. あまりやりたくない 4. やりたくない



<ボランティア希望で  
名前・連絡先の記載のあった人>

60代女性	2	70代女性	6
70代男性	2	80歳以上男性	1
計 11人			